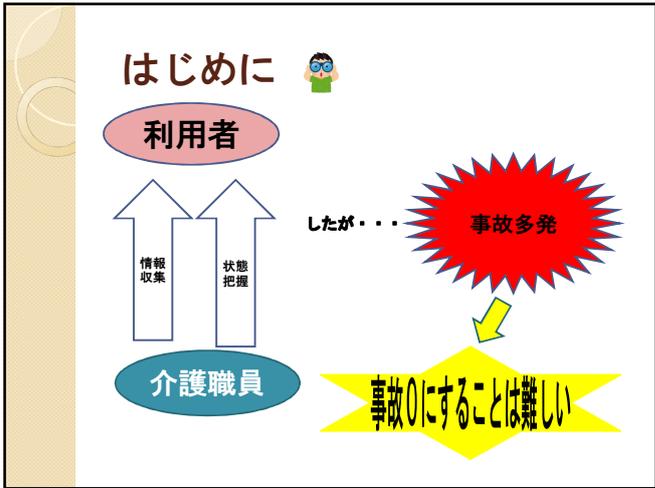


それいいね！スカッとケア

～みはるなら安心ずら～

みはるの丘浮島

平成27年度の取り組み

①業務改善

・入退早見表作成

・利用者様の情報共有

・居室作りもスムーズ

・利用者様とのコミュニケーションの時間も増えてきた。



平成28年度の取り組み

②転倒・転落チェックシート作成

・利用者様の既往歴

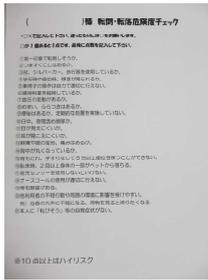
・服用している薬

・使用する福祉用具

・身体状況などの情報を集め作成

・危険度を把握・危険度一覧化

・危険度を周知



平成29年度の取り組み

③ICTの活用

・転倒転落シート見直し

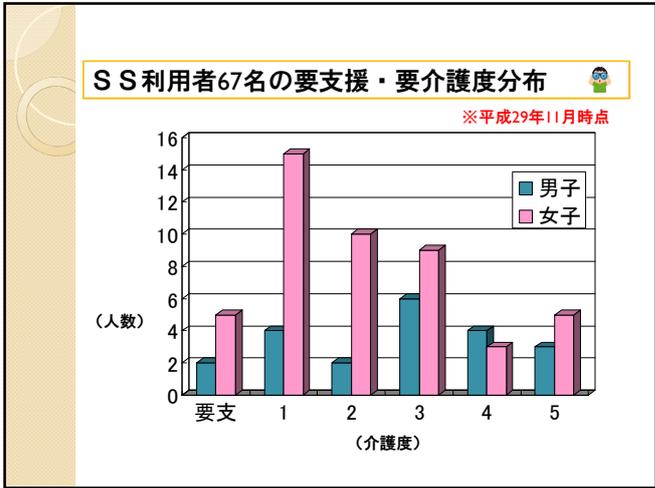
・事故に繋がる直接的な要因を見直しピックアップ

・再度危険度の把握を行う

転倒・転落危険度チェック

以下の項目は危険、転落の原因になるものです。当てはまるものを○を付けて下さい。当てはまらないものを×を付けて下さい。

- ① 歩行
 - ・歩行
 - ・歩行補助具
 - ・杖
 - ・歩行補助具
 - ・下駄履きの靴下
- ② 歩行時
 - ・トイレ利用
 - ・下駄履きの靴
 - ・歩行補助具
 - ・杖
 - ・歩行補助具
 - ・下駄履きの靴
- ③ 歩行時
 - ・歩行
 - ・歩行補助具
 - ・杖
 - ・歩行補助具
 - ・下駄履きの靴
- ④ その他
 - ・歩行
 - ・歩行補助具
 - ・杖
 - ・歩行補助具
 - ・下駄履きの靴



研究対象者35名の介護度内訳



対象者の危険度点数と介護度

点 介護度	9	8	7	6	5	4
1	1名	2名	2名		2名	1名
2	2名	1名	3名	1名		2名
3	3名	3名	1名	2名	2名	
4	2名		1名			
5	1名	2名	1名			

介護度に関わらず7~9点がまんべんなく、いることが分かる

①転倒・転落チェックシート編

ICT記録から対象者ヒヤリハットを抽出、集計

各個人別に多く挙がるヒヤリを選出し、一覧を作成

共通する項目について注意点についてのアンケートをとる

集計より共通する内容が多いことが分かる！！

4つに分類

独歩



- ・踵を踏む
- ・つまずき
- ・ふらつき 等



- ・使用せず歩行
- ・座ろうとする 等



- ・使用せず歩行
- ・ふらつき
- ・座位時落とした杖拾う 等



- ・ブレーキ無しで立ち上がる
- ・座位が崩れている
- ・単独で移乗 等

マニュアルの作成

4項目についてアンケートをとり、注意点を考える・・・



基本的な事だけど再度確認！！

リスク軽減だけでなくケアの統一にも繋がるね！！

例えば・・・



歩行器利用者注意点

- ・しっかりとシルバーカー、歩行器を使用し歩行しているか確認
- ・方向転換時、ふらつくことがある為、職員は進行方向と逆側に立つ
- ・急がせるような声掛けはしない
- ・歩行器を使用する際、進行方向に向いているか確認
- ・歩行器使用終了後、本人の目に入る場所に置いてあるか確認(終日)
- ・福祉用具未使用時、すぐに駆け寄り他職員に持って来てもらう

①転倒・転落チェックシート編

フロアでの注意点だけでなく・・・

利用者が一人になる最もリスクの高い場面！！



臥床時の注意点も必要！！



臥床時マニュアル



～居室編～

臥床時注意点

- ・トイレ誘導を必ず行う
- ・車椅子、杖、歩行器の置き場所の統一
- ・靴下は必ず脱いでもらう
- ・寝る位置の確認
- ・ナースコールを手の届く位置に設置
- ・本人持ちのコップ、目薬等、定位置に置いてあるか確認
- ・ベットは低床になっているか確認
- ・靴の位置の確認
- ・ベッドから降りる際、右降り左降りを確認する。(L字バーの固定の確認)
- ・センサー使用者、反応の有無の確認
- ・足元センサーマットが滑らないか確認



ひとつでも怠ると事故に繋がる可能性あり！！

②マニュアル理解度チェック編

- ・マニュアルから見る更なる注意点と各職員の理解度を知る

③ 調査結果表 ～理解度チェック～	名前
・注意点の項目で回数目理解できましたか？	/47
・理解できなかった、分からなかった どの項目が分かりにくかったですか	

事例①

B様 女性 要介護1 85歳

- ・両大腿骨頸部骨折の既往
- ・恥ずかしがり屋 羞恥心あり
- ・歩行不安定
- ・歩行器使用、長距離は車椅子使用

→朝食後トイレ誘導拒否の為そのまま臥床する。その後、転倒。本人トイレに行こうとして転倒。

事例① その後・・・

新たに臥床時のマニュアルを作成し、皆に周知をした。



職員の事故防止に対する意識が高まった！！



事例②

A様 女性 84歳 緊急入所(3月)

- ・左足第1、2、5壊死
- ・オムツ使用
- ・4月よりトイレ誘導開始



→(5月初旬)起床時、トイレに行こうとし、離床センサーのない所から降り、居室出入口まで歩行するが尻もちをつく。

事例② 現在 . . .

◎本人様の持っている力に着目し、車椅子生活からの脱却、歩行訓練実施中！！

◎食事も摂れるようになり体力も戻る



今後の課題



ご静聴ありがとうございました

